

第173回定例研究会

12月15日(木)

於:国労会館およびZoom

東京都パート・アルバイト募集時給調査

報告:中澤 秀一 氏(静岡県立大学短期大学部 准教授)

はじめに

本報告は、東京春闘共闘会議が2004年より実施している最賃改定後のパート・アルバイト募集賃金調査の結果をもとに、首都東京に注目して、最低賃金がパートやアルバイトとして働く非正規労働者の賃金に及ぼす影響について考察すること目的とする。

1 調査の概要

調査方法は、主に最低賃金が改定された直後の10月に新聞折り込み求人誌を都内各地域から回収して、パート・アルバイトの募集時の時給や労働条件をチェックしたものである。2021年は3487件のデータを集めており、これまでの累積データ数は35000件を超えている。

2 2021年調査の結果

東京都内のパート・アルバイトの募集時給の平均額は1,161円で、前年比10円アップしている。

2021年は最低賃金が10月に改訂され28円アップしているので、最賃増加額ほどは都内のパート・アルバイトの募集時給の平均額はアップしていない

都内を23区内と三多摩地区に分けてみると、23区内の平均額が前年比9円アップで最頻額や中央値には変化はないのに対して、三多摩地区では、平均額は前年比で5円アップに止まっているものの、最頻額は37円アップしており、最賃の改定幅28円を上回っている。

時給の水準は、23区内のほうが平均額1,161円を上回っている自治体が多く、高めの水準となっている。

職種別にみても、保健師、看護師、歯科衛生士などの国家資格が必要な職種や、顧客からのクレームに対応しなければならないコールセンターは比較的高い募集時給であるいっぽうで、ほとんどの職種では最賃2割増以下の水準に過ぎず、最頻時給額が最賃額1,041円である職種も少なくない。

なかでも介護や保育の現場で働くケア労働者の平均時給額は全職種の平均と同じ1,161円であり、その専門性に見合っているとは決して言えない時給額で募集されている。

3 パート・アルバイト募集時給の推移-最低賃金との関係

かつては最賃の水準よりもかなり高い水準であったパート・アルバイトの募集時給は、近年では最賃に接近してきており、最賃2割増の近傍ライン内に収まっている。

地域別にみると、23区よりも三多摩地区のほうがより最賃に張り付く傾向が年々強くなっている。

4 コロナ禍がパート・アルバイトの募集時給にもたらした影響

職種別の募集時給について、コロナ禍前後で見ると、最賃2割以上に位置する職種に大きな変動がなかった一方で、平均額や最賃1割に満たない職種数は減少している。

とくにコロナ禍直後の2020年には、最賃1割~2割のなかに含まれる職種数が増えて、最賃にぴったり張り付いている職種は一旦少なくなった。

一般事務・医療事務の時給ランクが上昇する一方で、娯楽場等の接客業では下降している。コロナ禍によるライフスタイルの変化等の影響によるものと考えられる。

おわりに パート・アルバイトの募集時給は適正なのか

今回のパート・アルバイト募集時給調査で、最低生計費水準を満たしているのは、薬剤師や看護師など数職種に過ぎなかった。

最低賃金法9条2項には、最低賃金の考慮要素として、労働者の生計費、賃金、事業の賃金支払能力の3つが挙げられており、なかでも労働者の生計費は、同条3項において「労働者の生計費を考慮するに当たっては、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう」とあるように、相当に重視されている。にもかかわらず、実際に最低賃金額を協議し決定する場である最低賃金審議会には、労働者の生計費に関するまともな資料は提供されていない。

コロナ禍による生活困窮者の急増は、現在の賃金水準では“溜め”がつかれないという事実を改めてわれわれに認識させることになった。

*連絡先: 〒420-0851 静岡市葵区黒金町55番地 静岡交通ビル3階301号(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@cy.tnc.ne.jp ホームページ <http://shizuokarouken.sakura.ne.jp/index.html>